

入居者・利用者への虐待防止に関する指針

特別養護老人ホームりんどう
グループホーム黒川

1 当施設における虐待防止に関する基本的考え方

当施設は、入居者又は利用者（以下、利用者と記載）の人権を尊重し、下記の虐待の定義の内容及び関連する不適切ケアを一切行わない事とする。また、虐待の発生の防止に努めると共に、早期発見、早期対応、再発防止について、すべての職員がこれらを認識し、本指針を遵守して、高齢者福祉の増進に努めるものとする。

【虐待の定義】

虐待とは、職員等から利用者に対する次のいずれかに該当する行為をいう。

（１） 身体的虐待

利用者の身体に外傷を生じ、若しくは生じる恐れのある行為に加え、または正当な理由なく利用者の身体を拘束すること。

（２） 性的虐待

利用者にわいせつな行為をすること。または利用者にわいせつな行為をさせること。

（３） 心理的虐待

利用者に対する著しい暴言、拒絶的な対応または不当な差別的言動、心理的外傷を与える言動を行うこと。

（４） 介護放棄（ネグレクト）

利用者を衰弱させるような著しい減食または長時間の放置、前三項に掲げる行為と同様の行為の放置、利用者を養護すべき職務上の義務を著しく怠ること。

（５） 経済的虐待

利用者の財産を不当に処分すること。利用者から不当に財産上の利益を得ること。

2 虐待防止のための職員研修に関する基本方針

（１） 職員に対する虐待防止のための研修内容として、虐待等の防止に関する基礎的内容等の知識を普及・啓発するものであるとともに、この指針に基づき虐待の防止の徹底を図る内容とする。

（２） この指針に基づく研修を新規職員採用時には必ず虐待防止の為、実施する。

3 虐待が発生した場合の対応方法について

- (1) 虐待もしくは虐待が疑われる事案が発見された場合には、利用者の安全・安心の確保を最優先に努める。
- (2) 施設長は、虐待の実態、経緯、背景等を施設職員に調査させ、再発防止策を検討する。
- (3) 虐待について、市町村の調査が行われる場合は、施設長及び施設長の命を受けた職員が対応する。
- (4) 虐待を行った職員については、就業規則に基づき適切な処分を行う。

4 虐待等が発生した場合の相談・報告に関する事項

- (1) 虐待事案は、虐待を裏付ける具体的な証拠が無くても、利用者の様子の変化を迅速に察知し、それに係る確認や施設長等への報告を行う。
- (2) 虐待もしくは虐待が疑われる事案を発見した職員は、施設長及び胎内市に第一報として報告を行うとともに施設長等は家族に誠意をもって謝罪し、虐待の実態、経緯、背景等の調査、再発防止策を速やかに行う旨を伝える事とする。
- (3) 施設長及び命を受けた職員は、虐待の実態、経緯、背景、再発防止策を家族及び胎内市へ報告する。

5 利用者に対する当該方針の閲覧について

当該方針については、誰でも閲覧できるよう、施設掲示板に据え置く事とする。

6 その他虐待防止の推進のために必要な事項

関係機関等により提供される虐待防止に関する研修会等には積極的に職員を参加させ、利用者の権利擁護とサービスの質の向上を図るよう研鑽に努める。